

団体名	夕張川自然再生協議会
事業名	夕張川自然再生協議会を基にした流域市民連携のいい川づくり

夕張川自然再生協議会は、北海道 e-水プロジェクト助成金で、夕張川流域の栗山町を中心とする地域で、河川整備や水辺の清掃・保全、川体験学習等、以下のとおり、大きく分けて7つの事業を実施しました。

1、 夕張川自然再生協議会の組織拡大

5月18日に江別河川事務所・札幌建設管理部長沼出張所・栗山町の関係行政機関と市民参加による平成27年度総会を行い、流域連携に向けた組織拡大を図った。



2、 サケ・マス自然復帰事業

4月4日にサケの放流と栗沢頭首工魚道完成セレモニーを行い、6月13日にはサクラマスの幼魚の放流を実施した。また、10月には夕張川と雨煙別川等支流の産卵床調査を行い、シロザケ19床、サクラマス10床を確認し、72年振りの遡上を確認した。



3、 自然環境調査

9月20日他で関係協力団体とあわせて、30回以上の水生生物調査を実施した。6月7日市民対象の夕張川探鳥会を行い、石狩川下流域で最大規模のショウドウツバメ営巣地やホオアカ等の草原の鳥等32種類の野鳥の確認ができた。



4、 歴史的な産業・文化遺産調査、資料蓄積

5月9日には氷河期に夕張川がつくった大地を巡るバスツアーを60名の参加者の下実施し、ナウマンゾウやマンモスゾウの発掘場所、砂利の堆積場所を見学し好評を得た。



5、 川体験学習の実施

7月27日には夕張川流域4町育成会の児童対象のEボートによる川下り体験を行った。



6、 シンポジウム・研修会・講習会の開催

7月12日にサケ・マス産卵床づくりと河床低下防止石組み講習市民工事実施。11月19日に夕張川自然再生シンポジウムを行い、夕張川自然再生への課題と技術を学んだ。



7、 河川清掃・環境保全活動

9月20日に雨煙別川清掃、11月8日にハサンベツ川支流「火薬庫の沢」土砂流失防止市民工事、11月29日には、ハサンベツ川「春の小川」再生市民工事を多数の市民参加の下、実施することができた。



以上、今年度の事業実施については、多様にわたり、結構忙しくて、事業に追われる形であったという間に過ぎた感じがします。しかし、川の自然再生活動にはたくさんの市民の参加があり、川体験学習では小学生を主体に多くの参加をいただき、充実した事業が展開できたと考えます。今後に向けては、夕張川の流域の歴史バスツアーや探鳥会が好評を得たことに踏まえ、更に工夫し充実した事業を進めていきたいと思えます。組織拡大については、来年度は夕張市・由仁町・長沼町・南幌町・岩見沢市の流域自治体への働きかけを行い、流域連携に向けた裾野を広げていきたいと思えます。

夕張川自然再生協議会